

平成 26 年度第 1 回日立市放射線対策連絡会 議事要旨

【日時】平成 27 年 2 月 23 日（月）15:00～16:20

【場所】日立市役所議会第 1・第 2 会議室

【出席委員】福地座長、田内委員、山口委員、新井委員、佐藤委員

【市出席】生活安全課長、生活安全課課長、放射線対策室長、

放射線対策室主幹

【議事】

1 日立市から説明

市内の放射線の状況、市の放射線対策の状況及び除染の実施結果等について説明した。

2 委員からの意見等

【指定廃棄物の最終処分について】

- ・委員から、8,000 ベクレル/kg 以下の焼却飛灰の処分方法について質問があった。
- ・これに対して、日立市から、8,000 ベクレル/kg 以下のものについては、滑川山処分場で通常の飛灰と同様に埋め立て処分しており、8,000 ベクレル/kg を超えているものは清掃センター敷地内で屋内保管しているとの説明があった。
- ・委員から、指定廃棄物は、飛散しない形で限定された場所に保管されている状況であれば、そのまま放射能濃度が下がるのを待つことも、方策としては良いのではないかとの意見があった。

【外部被ばくについて】

- ・モニタリングポストの空間線量率が下がってきていて、原発事故以降の追加被ばく線量を見ても積算で 1.5 ミリシーベルト程度で、日立市の場合ほとんど心配する必要のない線量であると思われるとの意見があった。

【甲状腺検査について】

・甲状腺検査の場合、原発事故がなくても一定の比率で自然に疾患を持っている方がいるので、ある程度の人数を検査した後で、出てきた数字をどう解釈してどう一般の方に説明するか、そこが難しい。早期発見という点では、検査することは悪いことではないと思うが、安易に行えばいいというものではないとの意見があった。